



「複合体 (脚立とレンガ)」 1971年 ©The Estate of Jiro Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

高松次郎 / デイヴィッド・シュリグリー 「レンガと脚立とネオン」

Jiro Takamatsu / David Shrigley,
Brick, Stepladder, and Neon

会期：2020年7月18日(土) - 8月29日(土) *夏休廊: 8月9日(日) - 8月17日(月)

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間:12:00-18:00 定休日:日、月、祝日

*オープニング・レセプションは開催いたしません。

*弊廊ウェブサイトは随時更新して参りますので、ご確認の上ご来廊くださいますよう、お願い申し上げます。

【ご来廊時のご協力につきまして】

*発熱、頭痛、咳、呼吸困難、倦怠感、嗅覚味覚異常など体調のすぐれないお客様はご来廊をお控えいただくようお願い致します。

*マスクのご着用をお願い致します。またご来廊時には入口にて手指のアルコール消毒と、非接触型体温計による検温にご協力いただくようお願いしております。

*万が一関係者などから新型コロナウイルス感染症の発症があった場合、連絡を差し上げられるよう、ご連絡先の記入をお願い致します。

*大人数での来廊はなるべくお控えください。

*混雑が発生した場合は、入場制限をすることがございますのでご了承ください。

ギャラリーでの換気のため、常時ドアと窓を開放しております。スタッフは毎日必ず検温を含む健康チェックを行い、手洗い、消毒液による殺菌をこまめに行なっております。予防対策として、マスクを着用し、ご対応させていただく場合がございます。

Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuでは、ギャラリーオープン当初より、毎年高松次郎が行った制作活動を紹介続けてきました。本年は、2020年7月18日(土)より、二人の現代美術作家、高松次郎とデイヴィッド・シュリグリーの作品で構成する企画を開催いたします。

イギリスを拠点に活動するシュリグリーは、ドローイングや彫刻など、多様な表現媒体を通じて、ユーモラスかつ脱力感のある作品を手がけてきた作家です。今回ご紹介する、赤いネオン管で「EXIBITION」という文字が造形された作品は、文字通り、展示会場の壁面に掲げられています。そこには、いわゆる「制度批評」と呼ばれる、美術作品が置かれる場や制度自体に対する批評性があります。ですが、ひよるひよるとした手書き文字を思わせるその造形からは、同時に、シリアスな現代美術のあり方からはあくまで距離を取ろうとするシュリグリーの戦略を垣間見ることができるでしょう。もちろんシュリグリーは、ネオン管による文字が、60~70年代のコンセプチュアル・アートで多用されたことも意識していたはずで

60~70年代のコンセプチュアル・アートの黎明期、日本におけるコンセプチュアルな傾向を牽引した高松次郎は、1971年にレンガの上に一本の脚立の脚を載せ、脚立全体を傾けた《複合体》を手がけています。高松のこの作品は、「もの」の単一性や複数性、そして事物相互の「関係」などの概念をきびしく問い直すものとして、コンテンポラリー・アート史上の歴史的問作であり続けています。

シュリグリーが展示する、展示会場内に掲げられる「EXIBITION」の文字は、半ば自明の事柄であるがゆえにユーモラスです。しかし、このような無意味性ゆえに、「EXIBITION」のネオンは、その文字がもつ意味を脱臼させ、文字や言語というものの存在のありように、問いを投げかけています。同じように、高松の《複合体》もまた、脚立の機能を部分的に失効させることにより、「もの」それ自体の存在のありようについて再考させる作品であると言えるでしょう。両者の作品は、対象からそれがもつ意味や機能を剥奪することで、そのものの存在について改めて見つめ直す機会を与えているようにも感じられます。

時代も国も異なる二人のアーティストが手がける、ミニマルで知的な作品の邂逅を通して、物事を認識することの多様さと広がりを感じ取っていただければ幸いです。



■アーティストプロフィール

高松 次郎 (Jiro Takamatsu)

1936 東京生まれ
1958 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
1998 歿

<主な個展>

- 2017 JIRO TAKAMATSU ANNUAL PROJECT HI-RED CENTER: THROUGH PHOTOGRAPHS(Kayne Griffin Corcoran、ロサンジェルス、アメリカ)
Jiro Takamatsu: The Temperature of Sculpture(ヘンリー・ムーア インスティテュート、リーズ、イギリス)
- 2016-17 JIRO TAKAMATSU : FROM SHADOW TO COMPOUND(Fergus McCaffrey、ニューヨーク、アメリカ)
- 2016 高松次郎 アトリエを訪ねて(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
JIRO TAKAMATSU(Kayne Griffin Corcoran、ロサンジェルス、アメリカ)
- 2015 JIRO TAKAMATSU(Stephen Friedman Gallery、ロンドン、イギリス)
イメージに置ける主語の不在 一文字、写真の作品よりー(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
高松次郎 制作の軌跡(国立国際美術館、大阪)
- 2014-15 高松次郎ミステリーズ(東京国立近代美術館、東京)
- 2013 高松次郎 遠近法 — 平面上の空間(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
JIRO TAKAMATSU(Stephen Friedman Gallery、ロンドン、イギリス)
- 2012 高松次郎 この七つの文字(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
高松次郎 万物の砕き(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
- 2011 高松次郎 言葉ともの一 純化とトートロジー —(NADiff Gallery、東京)
高松次郎 光と影(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
Jiro Takamatsu(McCaffrey Fine Art、ニューヨーク、アメリカ)
- 2010 Jiro Takamatsu Early Works(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
Jiro Takamatsu Shadow Paintings(McCaffrey Fine Art、ニューヨーク、アメリカ)
- 2009 高松次郎 「The Space」(ユミコチバアソシエイツ ビューイングルーム銀座、東京)
コレクション展 3 高松次郎コレクション in Hiroshima 点、線、不在のかたち(広島市現代美術館、広島)
- 2008 Daiwa Press Viewing Room vol. 08(大和プレス ビューイングルーム、広島)
光と影(ユミコチバアソシエイツ ビューイングルーム銀座、東京)
写真の写真(ユミコチバアソシエイツ ビューイングルーム銀座、東京)
- 2006 高松次郎 影のドローイング(MIYAKE FINE ART、東京)
- 2004 高松次郎一思考の宇宙(府中市美術館、東京/北九州市立美術館、福岡)
中原佑介撰 [高松次郎] (NADiff、東京)
- 2003 再検証・高松次郎絵画作品〜アトリエより〜(三鷹市美術ギャラリー、東京)
- 2002 高松次郎展(ビューイングルーム ヨヨギ ガレージ ユミコ チバ アソシエイツ、東京)
- 2001 高松次郎 No.4 「波」シリーズ 彫刻&ドローイング(ビューイングルーム ヨツヤ ユミコ チバ アソシエイツ、東京)
- 2000 高松次郎 「平面上の空間」シリーズ—小作品による—(ビューイングルーム ヨツヤ ユミコ チバ アソシエイツ、東京)
高松次郎—1970年代の立体を中心に(千葉市美術館、千葉)
- 1999 高松次郎—「影」の絵画とドローイング(国立国際美術館、大阪)
高松次郎展 第二期: 「紙の単体」(’70s)シリーズ(ビューイングルーム ヨツヤ ユミコ チバ アソシエイツ、東京)
高松次郎展 第一期: 未発表初期ドローイング(「点」以前…)(ビューイングルーム ヨツヤ ユミコ チバ アソシエイツ、東京)
- 1996 高松次郎の現在(新潟市美術館、新潟/三鷹市美術ギャラリー、東京)
- 1986 思考する知覚 高松次郎(ザ・コンテンツボラリー・アート・ギャラリー(西武百貨店池袋店)、東京)
- 1984 高松次郎展(東京日仏学院、東京)
- 1970 第1回画廊企画展 高松次郎 1961~70(ピナール画廊、東京)
- 1966 高松次郎 “アイデンティフィケーション”(東京画廊、東京)

<主なグループ展>

- 2019 INSIDE OUT: JIRO TAKAMATSU AND KEIJI UEMATSU IN CONVERSATION/An exhibition of post-war Japanese sculpture(Royal Society of Sculptors, Dora House、ロンドン、イギリス)
DECODE/出来事と記録 - ポスト工業化社会の美術(埼玉県立近代美術館、埼玉)
Robert Morris - Jiro Takamatsu & Robert Morris from the 1970's(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
- 2018-19 Minimalism: Space. Light. Object. (National Gallery Singapore、シンガポール)
- 2018 Between the Lines - Jiro Takamatsu, Agnes Martin, and Sol LeWitt(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
象る、象られる。(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
- 2017 ハイレッド・センター Hi-Red Center - through photographs and works - (Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)



- 2016-17 Provoke: Photography in Japan between Protest and Performance, 1960-1975(ALBERTINA、ウィーン、オーストリア/Fotomuseum、ヴィンタートゥール、スイス/LE BAL、パリ、フランス/The Art Institute of Chicago、アメリカ)
- 2015-16 For a New World to Come, Experiments in Japanese Art and Photography, 1968-1979(The Museum of Fine Arts, Houston, USA/Grey Art Gallery, New York University, USA/Japan Society Gallery, USA.)
- 2014 Cazador KURAMATA Shiro/TAKAMATSU Jiro Photographed by FUJITSUKA Mitsumasa(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
4x4(Stephen Friedman Gallery、ロンドン、イギリス)
Other Primary Structures Others 2(The Jewish Museum、ニューヨーク、アメリカ)
Image And Matter In Japanese Photography From The 1970s、Curated By Yumiko Chiba(MARIANNE BOESKY GALLERY、ニューヨーク、アメリカ)
Study from the Human Body(Stephen Friedman Gallery、ロンドン、イギリス)
- 2013-14 ハイレッド・センター「直接行動」の軌跡展(名古屋美術館、愛知/渋谷区松涛美術館、東京)
- 2012 REQUIEM FOR THE SUN: THE ART OF MONO-HA (BLUM & POE、ロサンゼルス、アメリカ/Gladstone Gallery、ニューヨーク、アメリカ)
- 2011 1970年代へ写真と美術の転換期 複写 反射 投影 I 期写真を選ぶ: 視覚の点検(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
- 2009 第5回太宰府天満宮アートプログラム 高松次郎 鷹野隆大 “写真の写真”と写真(太宰府天満宮、福岡)
- 2005 横浜トリエンナーレ 2005 アートサーカス[日常からの跳躍](横浜山下ふ頭3号4号上屋他、神奈川)
- 2003 高松次郎・清水晃二人展—高松次郎とその時代展—(ピューイングルーム ヨヨギガレージ ユミコチバアソシエイツ、東京、ギャラリー—十玄門、東京)
- 1998-99 Out of Actions: Between Performance and the Object 1949-1979 (アクション 行為がアートになるとき 1949-1979) (The Museum of Contemporary Art at the Geffen Contemporary、ロサンゼルス、アメリカ/MAK- Österreichisches Museum für angewandte Kunst (Austrian Museum of Applied Arts)、ウィーン、オーストリア/Museu d'Art Contemporani de Barcelona、バルセロナ、スペイン/東京都現代美術館、東京)
- 1996 Japon1970, Matière et perception: Le Mono-ha et la recherche des fondements de l'art (Musée d'Art Moderne, Saint-Étienne、セイント・エティエンヌ、フランス)
- 1995-96 1970年—物質と知覚—もの派と根源を問う作家たち(岐阜県美術館、岐阜/広島市現代美術館、広島/北九州市立美術館、福岡/埼玉県立近代美術館、埼玉)
- 1994-95 Japanese Art after 1945: Scream against the Sky (戦後日本の前衛美術) (横浜美術館、神奈川/Guggenheim Museum SoHo、ニューヨーク、アメリカ/San Francisco Museum of Modern Art in association with the Center for the Arts at Yerba Buena Gardens、サンフランシスコ、アメリカ)
- 1986-87 Japon des avant-gardes, 1910-1970 (前衛芸術の日本 1910-1970) (Centre national d'art et de culture Georges-Pompidou、パリ、フランス)
- 1980 現代の作家2 高松次郎・元永定正(国立国際美術館、大阪)
- 1977 Documenta 6 (第6回ドクメンタ) (カッセル、ドイツ)
- 1973 XII Bienal Internacional de São Paulo (第12回サンパウロ・ビエンナーレ) (サンパウロ、ブラジル)
- 1971 第10回現代日本美術展〈人間と自然〉(東京都美術館、東京/京都市立美術館、京都/愛知県文化会館、愛知/宮崎県立総合博物館、宮崎/佐世保中央公民館、長崎/福岡県立文化会館、福岡)
The 6th Guggenheim International Exhibition (第6回グッゲンハイム国際美術展) (Solomon R. Guggenheim Museum、ニューヨーク、アメリカ)
- 1970 第10回日本国際美術展 人間と物質(東京都美術館、東京/京都市立美術館、京都/愛知県文化会館、愛知/福岡市文化会館、福岡)
- 1969 6e Biennale de Paris, Manifestation Biennale et Internationale des Jeunes Artistes (第6回パリ青年ビエンナーレ) (Musée d'Art Moderne de la Ville de Paris、パリ、フランス)
- 1968 La Biennale di Venezia, 34. Esposizione Internazionale d'Arte (第34回ヴェネツィア・ビエンナーレ) (ヴェネツィア、イタリア)
- 1967 5e Biennale de Paris, Manifestation Biennale et Internationale des Jeunes Artistes (第5回パリ青年ビエンナーレ) (Musée d'Art Moderne de la Ville de Paris、パリ、フランス)
- 1963 第15回読売アンデパンダン展(東京都美術館、東京)
不在の部屋展(内科画廊、東京)
- 1958 第10回読売アンデパンダン展 (東京都美術館、東京)

<主なパブリックコレクション>

東京国立近代美術館 (東京)
国立国際美術館 (大阪)
東京都現代美術館 (東京)
ソロモン・R・グッゲンハイム美術館 (ニューヨーク、アメリカ)
ミネアポリス美術館 (ミネソタ、アメリカ)
ダラス美術館 (テキサス、アメリカ)
ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、アメリカ)
テート (ロンドン、イギリス)
グレンストーン美術館 (メリーランド、アメリカ)
シカゴ美術館 (イリノイ州、アメリカ)
ラチョフスキー・コレクション (ダラス、アメリカ)



デイヴィッド・シュリグリー (David Shrigley)

1968 イギリス、マックルズフィールド生まれ
1988-91 グラスゴー・スクール・オブ・アート (スコットランド)
ブライトン (イングランド) に在住

<主な個展>

- 2020 *Fond Memories of Giant Bug* (Jiri Svestka Gallery, Prague, Czech Republic)
- 2019 *Do it (do not do it)* (Museo de Arte Carrillo Gil, Mexico City, Mexico)
To Be of Use, Art Omi (Ghent, New York, USA)
Exhibition of Inflatable Swan-Things and other things (Nikolai Wallner, Copenhagen, Denmark)
Fluff War (Anton Kern Gallery, New York, USA)
David Shrigley (Two Rooms, Auckland, New Zealand)
- 2018-19 *Exhibition of Inflatable Swan-Things* (Spritmuseum, Stockholm, Sweden)
David Shrigley, Sketch (London, UK)
- 2018 *David Shrigley: Life Model II* (Fabrica, Brighton, UK)
David Shrigley: Laughterspace (Deste Foundation Project Space Hydra, Athens, Greece)
Lose Your Mind (Power Station of Art & Design, Shanghai, China)
- 2017 *New Drawings* (Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku, Tokyo, Japan)
Skip Gallery (London, UK)
Hall Art Foundation (Reading, VT, USA)
Problem Guitars (Anton Kern Gallery, New York, USA)
- 2016-17 *Lose Your Mind* (British Council/Guadalajara, Mexico/MAC, Santiago, Chile/Storage by Hyundai Card, Seoul, Korea/Art Tower Mito, Ibaraki, Japan)
- 2016 *Drawings and Paintings* (Stephen Friedman Gallery, London, UK)
Colourful Works on Paper (Galleri Nicolai Wallner, Copenhagen, Denmark)
Song For The Rat (BQ, Berlin, Germany)
Prix Canson 2016 (Drawing Center, New York, USA)
- 2015 Anton Kern Gallery, New York, USA
- 2014-15 *David Shrigley: Life and Life Drawing* (National Gallery of Victoria, Melbourne, Australia)
- 2014-18 *David Shrigley at Sketch* (Sketch, London, UK)
- 2014 *Drawing* (Pinakothek der Moderne, Munich, Germany)
- 2013 *Signs* (Anton Kern Gallery, New York, USA)
Turner Prize, (Edbrington, Derry-Londonderry, Northern Ireland)
- 2012 *Arms Fayre* (Stephen Friedman Gallery, London, UK)
Brain Activity (Hayward Gallery, London, UK / Yerba Buena Centre for the Arts, San Francisco, USA)
Beginning, Middle and End (Statens Museum for Kunst/Copenhagen, Denmark)
- 2011 *Animate* (Turku Art Museum, Finland)
Yvon Lambert, Paris, France
- 2010 M Museum (Leuven, Belgium)
- 2009 *New Powers* (Kunsthalle, Mainz, Germany)
Fumetto (Kunstmuseum/Luzern, Switzerland)
- 2008 *David Shrigley, Monotypien* (Museum Ludwig, Cologne, Germany)
BALTIC Centre for Contemporary Art, Gateshead, UK
Jonathan Monk & David Shrigley Corroborative Paintings (Galeria Estrany De La Mota, Barcelona, Spain/BAWAG Foundation, Vienna, Austria)
- 2007 Stephen Friedman Gallery, London, UK
To the Wall: David Shrigley with Lily Van der Stokker (Aspen Art Museum, Aspen, USA)
- 2006 Yvon Lambert, Paris, France
- 2005 *Photographs With Text On Them* (BQ Galerie, Cologne, Germany)
- 2004 Stephen Friedman Gallery, London, UK
Yvon Lambert, Paris, France
- 2003 Kunsthau, Zurich, Switzerland
Billboard Commission (Gloucester Road Underground Station, London, UK)
- 2002 Camden Arts Centre, London, UK/Mappin Gallery, Sheffield, UK/FRAC, Bretagne, France/Musée d'Art Moderne et Contemporain, Geneva, Switzerland
UCLA Hammer Museum, Los Angeles, USA
- 2001 CCS Museum, Bard College, New York, USA
- 1999 Stephen Friedman Gallery, London, UK
- 1998 Yvon Lambert, Paris, France
- 1997 CCA, Glasgow, UK
Stephen Friedman Gallery, London, UK
Photographers' Gallery, London, UK



- 1996 Catalyst Arts, Belfast, Ireland
The Contents of the Gap... (Lexus Cont.e. V, Glasgow, UK)
The Contents of the Gap... (Lexus Cont.e. V, Berlin, Germany)
- 1995 *Map of the Sewer* (Transmission Gallery, Glasgow, UK)

<主なグループ展>

- 2020 *David Shrigley/Teppeï Kaneuji* (Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku, Tokyo, Japan)
- 2019-20 *Playmode* (MAAT Lisbon, Portugal)
Stance & Fall: A Wavering World (Marta Herford, Herford, Germany)
- 2019 *Dog Show* (CGP London: The Gallery & Dilston Grove, London, UK)
There'll Never be a Door You're Inside: Works from the Coleção Teixeira de Freitas (Santander Art Gallery, Madrid, Spain)
The Stage Is Yours (Museum of Contemporary Art KIASMA, Helsinki, Finland)
- 2018 *Summer Exhibition* (Royal Academy of Arts, London, UK)
Sweats & Tears (Saasfee Pavilion, Berlin, Germany)
And I Will Take You To Paradise (Kunsmuseet Kube, Ålesund, Norway)
- 2017 *Folkstone Triennial* (Folkstone, UK)
- 2016 *Takashi Murakami's Superflat Collection* (Yokohama Museum of Art, Kanagawa, Japan)
- 2015 *Drawing Now: 2015* (The Albertina, Vienna, Austria)
- 2014-15 *Private Utopia: Contemporary Art from the British Council Collection* (Tokyo Station Gallery, Tokyo, Japan/Itami City Museum of Art & The Museum of Arts & Crafts, Itami, Hyoto, Japan/The Museum of Art, Kochi, Kochi, Japan/Okayama Prefectural Museum of Art, Okayama, Japan)
- 2014 *Study from the Human Body* (Stephen Friedman Gallery, London, UK)
Generation, 25 Years of Contemporary Art in Scotland (Scottish National Gallery, Edinburgh, UK)
- 2013 Fourth Plinth Commission (The Crypt, St Martin-in-the-Fields, London, UK)
Homelands (British Council Touring Exhibition, curated by Latika Gupta/travelling to Delhi, Kolkata, Mumbai, Bengaluru, India)
- 2012 *A Parliament of Lines* (Edinburgh City Art Centre, Edinburgh, UK)
Musique Plastique (agnès b. Galerie Boutique, New York, USA)
- 2011 *Ron Arad's Curtain Call* (The Roundhouse, London, UK/Israel Museum, Jerusalem, Israel)
The Sculpture Show (Scottish National Gallery of Modern Art, Edinburgh, UK)
- 2010 *Rude Britannia* (Tate Britain, London, UK)
- 2009 *Than a T-shirt* (Bielefelder Kunstverein, Bielefeld, Germany)
Sonic Youth etc.: Sensational Fix (Kunsthalle, Düsseldorf, Germany)
- 2008 *Life on Mars - 55th Carnegie International* (Carnegie Museum of Art, Pittsburgh, USA, Curated by Douglas Fogle)
Laughing in a Foreign Language (Hayward Gallery, London, UK)
Order, Desire, Light (Irish Museum of Modern Art, Dublin, Ireland)
- 2007 *Learn to Read* (Level 2 Gallery, Tate Modern, London, UK)
- 2006 *Under Gods Hammer: William Blake versus David Shrigley* (Art Gallery of Western Australia, Perth, Australia)
Dear Friends, D o.m.a.i.n.e. d.e. K.e.r.g.u.é.h.n.n.e.c (Centre d'art contemporain, Bignan, France)
The Compulsive Line: Etching 1900 to Now (The Museum of Modern Art, New York, USA)
Defamation of Character (MoMA PS1, New York, USA)
Six Feet Under (Kunstmuseum, Bern, Switzerland)
- 2005 *Emotion Pictures* (MUHKA, Antwerp, Belgium)
- 2004 *State of Play* (Serpentine Gallery, London, UK)
Emotion Eins (Frankfurter Kunstverein, Frankfurt, Germany)
Needful Things: Recent Multiples (Cleveland Museum of Art, Ohio, USA)
- 2003 *Love Over Gold* (Gallery of Modern Art, Glasgow, UK)
Splat, Boom, Pow! The Influence of Cartoons in Contemporary Art (Contemporary Arts Museum, Houston, USA/Institute of Contemporary Art, Boston/Wexner Center for the Arts, Columbus, USA)
- 2002 *The Galleries Show* (Royal Academy of Arts, London, UK)
Gags and Slapstick in Contemporary Art (CCAC Institute, San Francisco, USA)
Jokes (MAMCO, Geneva, Switzerland)
Open Country, Contemporary Scottish Artists (Le Musée cantonal des Beaux-Arts de Lausanne, Switzerland)
- 2001 *Televisions* (Kunsthalle, Vienna, Austria)
- 2000 *Beck's Futures* (ICA, London, UK/touring to Cornerhouse, Manchester, UK/CCA, Glasgow, UK (catalogue))
- 1999 *Love Bites* (Ikon Gallery, Birmingham, UK/Cornerhouse, Manchester, UK)
Zac 99 (Musée d'Art Moderne de la Ville de Paris, Paris, France)
- 1998 *Young Scene* (Secession, Vienna, Austria)
Habitat (Centre for Contemporary Photography, Melbourne, Australia)
- 1997 *Blueprint* (de Appel Foundation, Amsterdam, Netherlands)
Caldas Biennale (Caldas da Rainha, Portugal)
- 1996 *The Unbelievable Truth* (Stedelijk Museum Bureau/Amsterdam, Netherlands/Tramway, Glasgow, UK)
White Hysteria (Contemporary Art Centre of South Australia, Melbourne, Australia)
- 1994 *New Art in Scotland* (CCA, Glasgow, UK)



<主なパブリックコレクション>

アルドリッジ現代美術館 (コネチカット州、アメリカ)
シカゴ美術館 (イリノイ州、アメリカ)
アーツカウンシル・コレクション (ロンドン、イギリス)
ブリティッシュ・カウンシル (ロンドン、イギリス)
カートライト・ホール・アートギャラリー (ブラッドフォード、イギリス)
パード大学キュレーター研究センター (ニューヨーク州、アメリカ)
ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、アメリカ)
ルートヴィヒ美術館 (ケルン、ドイツ)
ピナコテーク・デア・モデルネ (ミュンヘン、ドイツ)
スコットランド国立近代美術館 (エジンバラ、イギリス)
コペンハーゲン国立美術館 (コペンハーゲン、デンマーク)
テート (ロンドン、イギリス)
ティッセン・ボルネミッサ現代美術財団 (ウィーン、オーストリア)

■関連情報 (展覧会)

高松次郎

「もうひとつの日本美術史 近現代版画の名作 2020」

会期：2020年7月11日(土) - 8月30日(日)
会場：福島県立美術館 (福島)
〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
<https://art-museum.fcs.ed.jp/展示/企画展#!/%23hanga>

David Shrigley

「Multiple III」

Recent Screenprints: David Shrigley

会期：2020年7月15日(水) - 8月31日(月)
会場：Stephen Friedman Gallery, London, UK (オンライン・ビューイング)
<https://www.stephenfriedman.com/>

「David Shrigley: Do Not Touch the Worms」

会期：2020年6月25日(木) - 12月30日(水)
会場：Copenhagen Contemporary
Refshalevej 173A, 1432 Copenhagen, Denmark
<https://copenhagencontemporary.org/en/david-shrigley/>

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp
[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-18:00 [定休日] 日・月・祝日